

1 まちづくり政策（企画政策部関係分）

政策 5 都市生活	政策展開の方向性						
	計画的な市街地整備による機能的な都市づくりを進めていくほか、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実を図るとともに、デジタル技術などの活用による市民サービスの利便性や、行政事務の生産性の向上に取り組むことで、全ての市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。						
	令和6年度 of 取組状況報告						
	5－（１） 市街地整備の推進						
	・江別駅周辺の活性化に向け、庁内横断的に組織した連携会議で協議を進めるとともに、旧江別小学校跡地の利活用に係る民間事業者との対話（サウンディング型市場調査）を通じて、利活用の方向性について検討を進めました。 ・子育て世代をはじめ多様な世代の居住維持や、移住・定住促進の取組を推進するため、地域おこし協力隊と連携し、移住者交流会などを開催したほか、オンラインでの移住相談や首都圏で開催された移住相談フェアへの出展、移住パンフレットの更新、シティプロモーション用動画の制作、移住ポータルサイトやSNSを活用した情報発信などに取り組みました。 ・都市計画マスタープランに基づき、「駅周辺を拠点とする集約型都市づくり」「江別の優位性を生かした経済の発展」「災害に屈しない強靱な都市づくり」「江別らしさを生かした住みよい都市づくり」「自然豊かで環境にやさしい都市づくり」を都市づくりの基本目標とし、都市施設の整備などを進めました。結果、宅地造成等の民間開発を中心とした土地利用動向が堅調なこともあり、成果指標の「市街地整備に満足している市民割合」は高水準を維持しています。						
	5－（２） 暮らしを支える交通環境の充実						
	・生活交通として大きな役割を担う路線バスは、利用者減少や乗務員不足などにより、路線の維持確保が厳しい状況であることから、利用促進を図るため、分かりやすいバス路線マップや路線バス乗り方ガイドの発行、広報周知などを行いました。 ・デマンド型交通について、江北地区及び豊幌地区において、運行事業に係る支援を行いました。						
	5－（３） 暮らしを豊かにする技術の活用						
	・江別市DX（デジタルトランスフォーメーション）推進方針に基づき、市民の健康管理を始めとする地域社会のデジタル化の推進及び令和7年度のシステム移行に向けた情報システムの標準化・共通化や生成AIの利用を開始し、業務効率化を図るなど、デジタル化の取組を進めました。また、DXの環境整備として情報セキュリティの徹底を図ってきたことに加えて、専用車両で実施する出張型スマホ教室や集合型スマホ教室を実施し、併せてデジタルデバйд対策を進めてきました。						
	政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合（都市機能、公園、上下水道）	%	80.0	79.6			↑
	交通環境に満足している市民割合（道路環境、除排雪事業、公共交通）	%	59.0	59.7			↑
	デジタル技術を活用したまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	19.4	24.1			↑
	企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「定住促進事業」 定住に関する相談対応件数	件	81	141			↑
	「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	420	479			↑
	システムを使用する課等の数	課	38	60			↑

政策 6 子育て・教育	政策展開の方向性						
	安心して子どもを産み育てられるよう、子どもが健やかに育つ環境づくりと、仕事と子育てを両立できる子育て世代にやさしいまちを目指します。 また、子どもの権利を尊重しながら、地域全体で子育てを温かく見守るまちづくりを進めます。 教育では、学校などでの様々な学びが、子どもたちの「生きる力」となり、今後、社会が変化し先行きが見通せない時代となっても、自分で課題を見つけ、学び、考え、判断、行動して、それぞれが思い描く夢を実現していく資質や能力が身に付くよう、地域とも連携して子どもたちを育みます。						
	令和6年度の取組状況報告						
	6－（２） 子どもの教育の充実						
	・市内の各大学が実施する教育環境の充実を図るための事業に対し、ふるさと納税の寄付金を原資とした「ふるさとえべつ教育応援補助金」を交付しました。						
	政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	江別市は、教育施策に力を入れているまちだと思う市民割合	%	43.0	36.9			↑
	企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「市内大学教育助成事業」 補助申請事案件数	件	4	4			↑

政策 8 協働・共生	政策展開の方向性						
	江別市自治基本条例で掲げる市民自治の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、NPO、ボランティア・市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携し、魅力ある協働のまちづくりに取り組み、多様な主体があるまに暮らせる共生のまちを目指します。 また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を行うほか、国際交流を推進するとともに、在住外国人にとっても住み良いまちを目指します。						
	令和6年度の取組状況報告						
	8－（１） 協働のまちづくりの推進						
	・市内大学の教員によるまちづくりや地域活性化等に関する調査研究及び学生が地域との連携を深めるための活動に対し補助金を交付するとともに、当該補助制度の活用の促進に向けたPRを行いました。 ・市内4大学の学生の将来的な地域定着及び大学連携の活性化を図るため、学生と地域活動（インターンシップやボランティア活動等）のマッチングに取り組みました。 ・市の認知度や市への愛着心の向上を図るため、市内4大学の学生等に対し、各種SNSやスマホアプリによる情報発信を行ったほか、学生が主体的に企画・実施するまちづくり等に関する活動を支援しました。						
	8－（２） 共生社会の形成						
	・江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、年齢や障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「共生のまち」を目指し、地域や大学等と連携した取組を進めました。						
	政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	共生のまちづくりが進んでいると思う市民割合	%	47.0	46.3			↑
	企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業申請件数	件	9	10			↑
	「生涯活躍のまち推進事業」 拠点地域を訪れた人数	人	100,764	113,675			→

政策 9 計画 推進	政策展開の方向性						
	効率的で効果的な行政サービスの執行と健全な財政運営に努めるとともに、時代の変化と地域課題に応じた市政運営を推進します。 また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、様々な媒体を通じて広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。						
	令和6年度の取組状況報告						
	9－（１） 自主・自立の市政運営の推進						
	・令和6年度を初年度とする「江別市行政改革大綱」及び「江別市行政改革推進計画」を策定し、大綱に掲げる基本目標を実現するため、江別市行政改革推進計画に掲げる取組項目を着実に実行しました。 ・PDCAサイクルを用いた行政評価により、第6次総合計画の達成状況等の総括を行いました。また、人口減少や少子高齢化に対応する個別計画として、具体的な施策や指標を掲げる第3期江別市総合戦略を令和7年3月に策定しました。						
	9－（２） 透明性と情報発信力の高い市政の推進						
	・広報広聴活動では、広報誌においてタイムリーな特集記事を掲載したほか、読みやすい誌面となるよう工夫を進めるとともに、読者の感想を募集するなどして、市民が意見を寄せやすい環境づくりに努めたほか、各種SNSなどを活用し、市民が行政情報を容易に入手できる環境整備を進めました。 ・シティブロモーションでは、インスタグラムフォトキャンペーンの実施や、ふるさと納税の寄附者向けのPRパンフレットの制作のほか、地域おこし協力隊と連携したイベントの開催、江別シティブロモート推進協議会による官民一体の活動や、各種SNSの活用などに引き続き取り組みました。						
	政策の成果指標	単位	（初期値）	R6年度	R7年度	R8年度	目標
	市政運営に満足している市民割合	%	64.8	74.5			↑
	市から必要な情報が提供されていると感じる市民割合	%	81.7	88.4			↑
	市に意見を伝える機会・場所が充実していると感じる市民割合	%	63.0	76.8			↑
	企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	－	72.1			↑
	「行政評価・外部評価推進事業」 計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	83.2	86.8			↑
	「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合	%	78.8	74.4			↑

2 えべつ未来戦略（企画政策部関係分）

戦 略	■具体的施策 「関連事業」（担当課）
【戦略1】 子どもが主役のまちをつくる	
【戦略2】 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける	③ 多様性を認め合う社会意識の醸成 「生涯活躍のまち推進事業」（政策推進課）
【戦略3】 みんなの働きがいと、元気な経済をつくる	
【戦略4】 地域から地球温暖化防止に挑む	

【戦略5】
デジタル技術で住みよい明日を
切りひらく

① デジタル技術の活用
「生涯健康プラットフォーム推進事業」（デジタル政策担
当）

3 企画政策部の資源

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	190,212				
	特別会計 (B)	0				
	合計 (A+B)	190,212	0	0	0	0
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	37.00				
	平均単価 (b)	7,695				
	人件費 (a×b)	284,715	0	0	0	0
総 額		474,927	0	0	0	0